

事務事業	146	高田馬場三丁目地区高齢者向け施設の建設					
章	1	健康でおもいやりのあるまち					
大項目	01	心と体の健康づくり					
施策	01	生涯を通じた心と体の健康づくり					
事業内容							
目的	新たに地域に戻ってくる団塊の世代を中心としたシニア世代の活動拠点として、ボランティアや社会貢献活動を行うための拠点としての機能を有する「シニア活動館」を、高田馬場三丁目地区に建設します。						
対象・手段	対象：シニア世代を含む高齢者 手段：高田馬場第一ことぶき館を、地域住民や利用者等で構成された建設準備委員会の検討結果を踏まえて、高田馬場シニア活動館に建替えます。						
成果(事業が意図する成果)							
従来のことぶき館が持つ「趣味などのいきがい活動の場」「健康づくりの場」「仲間づくり・交流の場」などの機能に、シニア世代が行う「ボランティアや社会貢献活動等の場」としての機能を加えた「シニア活動館」を、高田馬場三丁目地区に整備するとともに、利用者層の拡大と、利用者数の増加を目指します。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
高田馬場シニア活動館の建設					(平成19年度)に (1館を建設)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
事業成果指標	目標値1	館	0.00	0.00	0.00	1.00	
	実績1	館	0.00	0.00	0.00	1.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	活用方針に基づき、「新しい高齢者向け施設」の事業・施設内容について、利用者、地域住民からなる建設準備委員会とともに検討を行ないました。						
平成19年度	検討結果に基づき、高田馬場第一ことぶき館を解体し、高田馬場シニア活動館の建設工事を行い、2月末に竣工しました。						

部名称		福祉部			課名称		高齢者サービス課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	5,516	高田馬場シニア活動館の工事費については、発生主義の考え方を取り入れているため、事業費に含んでいません。	
	人件費	千円	0	0	0	12,390		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	0	0	17,906		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	0	17,906		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	0	17,906		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	0.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	1.50		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>高田馬場三丁目地区施設の活用方針に基づき、21年度までは、2階部分は児童館学童クラブの仮施設として活用し、シニア活動館としては1階のみの部分活用となっています。22年度の本格活用に向けて、具体的な事業内容を利用者、地域住民とともに検討していく必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	当初計画どおり、高田馬場シニア活動館を20年2月末に竣工することができました。					
	実施の成果	2	従来のことぶき館の機能に、シニア世代の活動拠点としての機能を加えたシニア活動館を区内に初めて建設することができました。22年度の本格活用が開始されることで、さらに大きな成果が見込まれます。					
	効率性	3	当初計画どおりに竣工することができたので、費用対効果の視点からは効率的です。					
	行政の関与	3	生きがい活動、社会貢献活動等は自主的に行われるものです。しかし、シニア世代を含む高齢者の方の生きがいや地域のまちづくりに大きく貢献することから、区が拠点整備を行うことは必要です。					
	妥当性	2	今後も退職等により地域に戻ってくる方が増えていくことから、目標設定は適切です。					
	施策寄与度	2	区内に初めてシニア活動館を建設し、シニア世代等の活動を支援する拠点を作ることができたので、施策「生涯を通じた心と体の健康づくり」の目標達成に向け、寄与できました。なお、今後本格活用に向けて、具体的な事業等を構築していく必要があります。					
総合評価	平成19年度の評価をBとしたのは、当初計画どおり、高田馬場第一ことぶき館を、高田馬場シニア活動館として建設することができたからです。						B	
							過年度評価	
改革方針							18年度 17年度 16年度 15年度	
							方向性	
22年度の本格活用に向けて、高田馬場シニア活動館の具体的な事業内容等に関して利用者、地域住民と引き続き検討を進めていく必要があるため、第一次実行計画「36高齢者の社会参加といきがいづくりの拠点整備」に引き継いで取り組んでいきます。						1		
						現状のまま継続		